

高校公民プリント（過去問類似）

日本の思想 No.2

名前

得点

/10

問1 第二次世界大戦後の混乱期において、戦時中の美徳や天皇制などの旧来の道徳的枠組みに依存することを批判し、人間が自らの弱さやありのままの自己を見つめ直して主体的に生きるために「生きよ、堕ちよ」と説いた、『墮落論』の著者である文学者は誰か。 （2019年 全国公立入試 類似）

1. 安部公房 2. 川端康成 3. 坂口安吾 4. 横光利一

問2 古代の日本人が神々の前で理想とした、嘘偽りや汚れがなく、包み隠さず純粋で正直な心のあり方を何というか。 （2012年 全国公立入試 類似）

1. 清き明き心 2. 清き直き心 3. 黒き汚き心 4. 明き清き心

問3 平安初期に唐へ渡って密教を体系的に学び、帰国後に真言宗を開いた僧侶は誰か。彼は、宇宙の根底に働く真理を本尊とし、身体・言葉・心の3つの働きを整える修行を通じて、この世に生きながらにして仏となる即身成仏の境地に達することができるという。 （2025年 全国公立入試 類似）

1. 最澄 2. 円仁 3. 空海 4. 円珍

問4 茶道における「一期一会」の精神を、その都度の茶事を一生に一度限りのものと覚悟して自己の最善を尽くすことと捉え、さらにこの態度を人生全般に広げて、各瞬間を一生に一度の覚悟で全力で生きることにより、無常を生命肯定の契機へと変えて充実した生が実現されると説いた、昭和期の日本の哲学者は誰か。 （2020年 全国公立入試 類似）

1. 久松真一 2. 西谷啓治 3. 九鬼周造 4. 和辻哲郎

問5 古代日本の他界観において、死は忌むべき汚れ（穢れ）としても捉えられていた。『古事記』の神話において、火の神を生んで命を落とした伊邪那美命が赴き、彼女を追ってきた伊邪那岐命がその変わり果てた姿に恐れをなして逃げ帰ったとされる、地下にある死後の世界を何というか。 （2009年 全国公立入試 類似）

1. 高天原 2. 黄泉国 3. 根の国 4. 常世国

問6 戦国時代、西日本を中心に伝来したキリスト教の信仰を受け入れ、領内での布教を保護するとともに、南蛮貿易による利益や武器・物資の入手を目指した領主たちを総称して何と呼ぶか。 （2008年 全国公立入試 類似）

1. キリシタン大名 2. 戦国大名 3. 織豊大名 4. 守護大名

問7 朱子学が説く「理」を個人の主観的な思弁にすぎないと批判し、社会を治めるための具体的な制度や規範である「道」は、古代中国の先王が制作したものであると主張して、古典の言葉を直接読み解く古文辞学を提唱した人物は誰か。 （2013年 全国公立入試 類似）

1. 新井白石 2. 荻生徂徠 3. 伊藤仁斎 4. 貝原益軒

問8 江戸時代の朱子学者である室鳩巢は、仏教徒が極楽往生を願うことを、主君や親を顧みずに自分一人の安楽を求める利己的な姿勢であるとして厳しく批判した。このような彼の思想や、日常の教訓・逸話などが記されている、彼の代表的な著書は何か。 （2016年 全国公立入試 類似）

1. 大学或問 2. 駿台雑話 3. 聖教要録 4. 語孟字義

問9 イギリス留学を経て、近代日本の急速な開化に伴う知識人の苦悩を見つめ、自己本位の個人主義を提唱する一方で、個人の自由の追求が他者との衝突やエゴイズムの自覚をもたらし、自我と社会との葛藤に直面せざるを得ない人間の姿を『それから』や『こころ』などの作品で描き、晩年には「則天去私」の境地を志向した作家は誰か。 （2005年 全国公立入試 類似）

1. 有島武郎 2. 志賀直哉 3. 夏目漱石 4. 永井荷風

問10 自己を修める方法として朱子学における「敬」の道徳的実践を極めて重視し、君臣関係の絶対性を強調した江戸時代前期の儒学者は誰か。のちに儒学と神道を融合させた垂加神道を創始したことで知られる。 （2017年 全国公立入試 類似）

1. 荻生徂徠 2. 熊沢蕃山 3. 伊藤仁斎 4. 山崎闇斎